

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう  
求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われました。その戦没者の遺骨が混入した土砂が、いま埋立てに使用されようとしています。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや、命の尊さを認識し、戦没者の御霊を慰めるため、戦跡としては我が国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されています。この平和祈念公園内にある「平和の礎」には、沖縄戦などで亡くなった24万1593名が刻銘されています。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた地域住民や、全国から招集され、命を落とした兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の遺骨収集が行われています。沖縄戦で犠牲になった方々のご遺骨はもちろん、その血が染み込んだ土砂を埋立て事業に用いることは人道上許されることではありません。

よって、本議会は、下記の事項が速やかに実現されることを強く要請します。

記

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を、埋立てに使用しないこと。
- 2 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年12月10日

衆議院議長

細田 博之 殿

参議院議長

山東 昭子 殿

内閣総理大臣	岸田	文雄	殿
外務大臣	林	芳正	殿
厚生労働大臣	後藤	茂之	殿
国土交通大臣	斉藤	鉄夫	殿
環境大臣	山口	壯	殿
防衛大臣	岸	信夫	殿
内閣府特命担当大臣	西銘	恒三郎	殿

神奈川県中井町議会